

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	計画書の目標欄に記載された文言が、入居者ではなく、職員目線での表が多い。入居者一人一人の方にとっての視点を大切にとらえ、「ひもときシート」を活かした計画作成を行っていく。	職員目線の文言やケアにならないように、入居者様一人一人に目を向け、個人にあったケアを行っていく。	ひもときシートを活用し入居者の事を知り、生活家族状況や性格等を計画作成に取り組み一人一人に合ったケアを行っていく。家族に話を聞いたり、計画作成内容を見せてより良い計画にしていく。	日々継続
2		職員のスキルアップを行い、入居者様に質のいい介護を行っていけるよう努力する。	職員一人一人のスキルアップができ、入居者様に対する接し方や態度、介護状況の質を上げていき施設全体を良くしていく。	全体研修や新人研修の継続を行うとともに、説明する側も読むだけの説明ではなく、絵を使った説明や実技も取組み分かりやすく伝わりやすい説明を行う努力をしていく。	12ヶ月
3		入居者様も高齢になりなっており、ADLの低下も見られ昨年出来ていたことが出来なくなっている。	現能力を維持、向上しADLを落とさないようにする。	日々の散歩に加え、レクリエーションのなかに手足の運動を取組んでいく。ボランピア等を活用しケアビクスに来て頂き日頃出来ない運動をしてもらう。	日々継続
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。